考查項目	細 別	a	b	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●評価対象項目			□ 施工体制一般に関して、監督 □] 施工体制一般に関して、監督職
		□ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、	布工体制一般について指示事項が無い。		職員が文書による改善指示	員からの文書による改善指示
		□ 施工計画書を、工事着手前又は施工方法が確	定した時期に提出している。		を行った。	に従わなかった。
		□ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
			忍を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。			
		□ 元請が下請の作業成果を検査している。				
		□ 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。				
		□ 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対J				
		□ 現場に対する本店や支店による支援体制を整. □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
		□ 工場製作期間における技術者を適切に配置し、				
			おける社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。			
			の切り替え作業における予期できない事象等に対応できる体制を整えている。			
		□ その他 (理由:				
		●判断基準				
		▼刊刷基準 該当項目が 90%以上・・・・・・a	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。			
		該当項目が 80%以上 90%未満・・・・b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で	で評価する。		
		該当項目が80%未満・・・・・・c	③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()			
		IN J. K II N. 00 (N/KIIM)	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	Ⅱ. 配置技術者	a	b	С	d	e
	(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●評価対象項目			□ 配置技術者に関して、監督職 □] 配置技術者に関して、監督職員
		【全体を評価する項目】		員が文書による改善指示を	からの文書による改善指示に	
		□ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、	記置技術者について指示事項が無い。		行った。	従わなかった。
		□ 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選	壬及び配置している。			
		【現場代理人を評価する項目】				
		□ 現場代理人が、工事全体を把握している。				
		□ 設計図書と現場との相違があった場合は、監	腎職員と協議するなどの必要な対応を行っている。			
		□ 監督職員への報告・連絡を適時及び的確に行・	っている。			
		【監理(主任)技術者を評価する項目】※				
		特例監理技術者の指導により、監理技術者補佐が適正に実施				
		□ 事前協議を踏まえ、共通仕様書及び諸基準に				
		□ 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理が				
		ロ 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、				
		□ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術i				
		□ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づい □ その他 (C技術的な判断を11つ Cいる。			
		理由:				
		●判断基準				
		該当項目が 90%以上・・・・・・a				
		該当項目が 80%以上 90%未満・・・・b				
		該当項目が 80%未満・・・・・・・c	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の付 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()	ж. ч н 1 рм / 6/0		
			④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

考查項目	細別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●評価対象項目 □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した現場条件の変化に対して、適切に対応している。 □ 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。 □ 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に現場内の整理整頓を日常的に行っている。 □ 指定材料の品質証明書及び写真等を保管している。 □ 指定材料の品質証明書及び写真等を保管している。 □ 指定材料の品質証明書及び写真等を保管している。 □ 工事打合せ簿を、事前協議に基づき、過不足無・建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行って事全般において、低騒音型、低振動型、排出に置気設備等について、設備更新時の新旧設備のサーマの他	□ 施工管理に関して、監督職員 が文書による改善指示を行った。	施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
	Ⅱ.工程管理	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
		●評価対象項目 □ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程に与える要因を的確に把握し、それらを反照 □ 実施工程表の作成及びフォローアップを行っては □ 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の値 □ 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が □ 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 □ 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 □ その他 〔理由: ■判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・・・・・・ 該当項目が80%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 工程管理に関して、監督職員 が文書による改善指示を行った。	工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		

						(2 2 (1)
考 査 項 目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ			ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 出来形の測定方法又は測定値	□ 契約書第17条に基づき、監督
	事・通信設備	●評価対象項目			が不適切であったため、監督職員	職員が改造請求を行った。
I. 出来形	工事・受変電		及び出来形管理表により確認できる。		が文書で改善指示を行った。	
	設備工事	□ 機器等の測定(試験)結果が、その都度管				
		□ 不可視部分の出来形を写真撮影している。				
	※上記欄によ		[目について、監督職員と協議の上で管理している。			
	らず、当該欄					
	で評価	□ 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承				
		□ 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通				
		□ 測定機器のキャリブレーションを、定期的				
		□ 行先などを表示した名札がケーブルなどに				1
			·ガバリ勿く室画に取り下げている。 かいて、設計図書の仕様を満足していることが確認でき	z		
			V'(、放計凶音が仕塚を個だし(V'ることが唯祕(さ	る。 -		!
		□ 社内の管理基準に基づき管理している。 □ 設計図書に定められている予備品等に不足	-3.5 4m.1 \			!
				ナカブリス		
			護など運用における不可抗力を想定した安全対策がな	<u> </u>		!
		□ その他 (□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				
		理由:		J		
		A VALINES HE VALE				
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目	け削除する		
		評価値が80%以上・・・・・・・a	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数			
		評価値が 60%以上 80%未満・・・・b	③ 評価値(%)=該当項目数()/評価	· · ·		
		評価値が 60%未満・・・・・・ c	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場			
			世 なわ、刑所後の計画対象項目数が2項目以下の物			
	i	1				•

通信 Ⅱ. 品質	変電設備工事 (上記欄によら [*] 、当該欄で評	□ 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満しまれて、サヤ表示灯が承諾図書のとおり面になってですれ及び配管の接続などの作業が施工部には、一、設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足し、投作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足し、設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し、現場条件によって機器(製品)の機能及び性能は、設備全体についての取扱説明書を適切に作品に、完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足し 満足し、成績書にまとめている。 記置され、正常に作動することが確認できる。 計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 としていることが確認できる。 としていることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 診が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい	護装置の作動が確認できる。	品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため監督職員 が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質 受変 ※上 ず、	変電設備工事 (上記欄によら [*] 、当該欄で評	□ 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術 □ 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書 □ 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満 □ 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり酉 □ ケーブル及び配管の接続などの作業が施工書 □ 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足し □ 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足し □ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足し 満足し、成績書にまとめている。 記置され、正常に作動することが確認できる。 計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 としていることが確認できる。 としていることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 診が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい	護装置の作動が確認できる。		督職員が改造請求を行った。
※上 ず、	・上記欄によら ・、当該欄で評	□ 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を活 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり酉 ケーブル及び配管の接続などの作業が施工記 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足し 満足し、成績書にまとめている。 記置され、正常に作動することが確認できる。 計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 としていることが確認できる。 としていることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 診が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい	護装置の作動が確認できる。	が文書で改善指示を行った。	
ず、	、当該欄で評	□ 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満しまれて、サヤ表示灯が承諾図書のとおり面になってですれ及び配管の接続などの作業が施工部には、一、設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足し、投作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足し、設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し、現場条件によって機器(製品)の機能及び性能は、設備全体についての取扱説明書を適切に作品に、完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	満足し、成績書にまとめている。 記置され、正常に作動することが確認できる。 計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 としていることが確認できる。 としていることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 診が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい	護装置の作動が確認できる。		
ず、	、当該欄で評	□ 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり酉 ケーブル及び配管の接続などの作業が施工記 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	記置され、正常に作動することが確認できる。 計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 足していることが確認できる。 足していることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 記が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
		□ ケーブル及び配管の接続などの作業が施工記 □ 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足 □ 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足 □ 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足 □ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 足していることが確認できる。 足していることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 話が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
価	i	□ 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足 U 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作成 元成図書で定期的な点検や交換を要する部品	正していることが確認できる。 正していることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 Eが確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
		□ 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足 □ 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し □ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	足していることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保 していることが確認できる。 記が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
		□ 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足し □ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	していることが確認できる。 Eが確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
		□ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能 □ 設備全体についての取扱説明書を適切に作品 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	らが確認できない場合において、工場試験などで確認している。 成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)してい			
		□ 設備全体についての取扱説明書を適切に作成 □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品	戎(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)して い			
		□ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品		ス		
			7 及び答記な明子している	v ₀		
		□ 設備の構造について、点検や消耗品の取替え	-			
			などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認している。_			
		□ 設備の耐震設計について、受注者自らが確認	<u> 松、相宜したことが帷部できる。</u>			
		こ その他 (理由:				
		●判断基準 評価値が 80%以上・・・・・・a 評価値が 60%以上 80%未満・・・・b 評価値が 60%未満・・・・・・c	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評价	算した比率(%)計算の値で評価する。 数()		
	湾ブロック据	「評価対象項目」				
付工	·工事	□ 気象・海象条件に適した運搬及び据付を行っ □ ブロックの据付状況を潜水士が確認している □ ブロック相互間に石等のはまり込み又は挿刀 □ ブロックのかみ合わせが良い。 □ ブロックの破損がない。	5.			

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(総括技術評価官)

細 別	a	b	С	d	e						
Ⅱ. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている						
	●評価対象項目		·								
	□ 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させ	せることなく工事を完成させた。									
	□ 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることな	よく工事を完成させた。									
	□ 工程管理を適切に行なったことにより、夜間工事の回避等を行い	、工事による地域への影響を軽減させた。									
	□ 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。										
	□ 現場閉所による週休2日(4週8休以上)に取り組んだ。										
	□ 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕を	ともって工事を完成させた。									
	□ 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を	と的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。									
	□ 設備更新等の工事において、機能停止期間の短縮など、工事によ	よる利用者への影響を軽減させた。									
	□ その他 🖯										
	理由:										
	●判断基準										
Ⅲ. 安全対策	a	b	С	d	e						
	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている						
	●評価対象項目										
	□ 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であっ	った。									
	ロ 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。										
	□ 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	ロ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。										
	□ 災害防止協議会等での活動に積極的に取り組んだ。										
	□ 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。										
	□ その他										
	_理由:										
	●判断基準										
	上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を	行う。									

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

						(e) (ii) (i) — (i)
考查項目	細別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目			施工管理について、監督職員	施工管理について、監督職員か
		□ 契約書第18条第1項第1号~5号に基づ	く設計図書の照査を行っていることが確認できる。		が文書による改善指示を行	らの文書による改善指示に従
		□ 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確	定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及で	び現場条件を反映したものとな	った。	わなかった。
		っていることが確認できる。				
		□ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容	と現場施工方法が一致していることが確認できる。			
		□ 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じ	た場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計[画書を提出していることが確認		
		できる。				
		□ 工事材料を品質に影響が無いよう保管してV				
		ロ 立会確認の手続きを事前に行っていること				
		□ 建設副産物の再利用等への取り組みを行って				
			った内容で適確に整備していることが確認できる。			
		□ 下請に対する引き取り(完成)検査を書面				
			質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っているこ	レが確認できる		
		□ 工事関係書類を事前協議に基づき過不足な				
			て 1 FDA していることが確認できる。 こ明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。			
		□ 電気設備等について、設備更新時の新旧設				
		□ その他				
		理由:				
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。			
		該当項目が90%以上・・・・・・a	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した、比率(%)計算の値	すで評価する		
		該当項目が80%以上90%未満・・・・b	③ 評価値 (%) =該当項目数 () /評価対象項目数 ()	Σ C H I IIII / 0/0		
		該当項目が 80%未満・・・・・・c	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
			は なわ、 内外後の計画内象項目数かる項目が「の勿目はし計画とする。			

考 査 項 目	工種	a	a ,	ь	b '	С	d	投 附 懐 耸 目) e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	電気設備工	優れている ●評価対象項目 □ 据付に関する出来形管 □ 機器等の測定(試験) □ 写真管理基準の管理基準の管理基準の問題書で定められて □ 設備全般にわたり、形 □ 設備の据付、固定方法 □ 配管及び配線が設計図 □ 行先などを表示した名 □ 配管及び配線の支持間 □ 社内の管理基準に基づ □ 設計図書に定められて □ 設計図書に定められて □ 高温部等の危険個所へ □ その他 (理由: ●判断基準 評価値が 90%以上・・・ 評価値が 70%以上 80%表		劣っている				
	港湾ブロック	評価値が 60%以上 70%未 評価値が 60%未満・・・ a		④ なお、削除後の評価対象項目数が	32項目以下の場合はc評価とする。	c	d	e
	据付工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	※上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 □ 大きな凹凸がない。	囲に概ね入っている。 る。 等で出来る。 該当項目が。 該当項目が:	4項目程度以上・・・ a 3項目程度・・・・・ b 2項目程度以下・・・・ c			□ 出来形が規格値等を満足せず、監督職員が文書で改善指示を行い、規格値等を満足した。	

□ 全体的な美観が良い。

考查項目別運用表(営繕工事以外)

考查項目	工種	a	a'	b	b '		С		d			е	
3. 出来形及	鋼橋工事	□ 品質関係の試験結果のばら	っつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<半	判断基準参照 >			□ 品質関係	の測定方法	又は測定値	□ 品質関係	系の測定方法又	は測定
び出来ばえ	(RC床版工事は	[関連基準、土木工事施工学	管理基準、その他設計図書に定めら	っれた試験]					であったた			適切であったため	
о щуктоле	コンクリート構	※ ばらつきの判断は別線	氏4-1参照。					員が文書	で指示を行	い改善され	職員が個	を補指示を行った	<u>.</u>
T D 66								た。					
Ⅱ. 品質	造物に準ずる)	●評価対象項目											
		【工場製作関係】	ケ(コ)~然でロ) ~ 、フ ニアロロ・トラーチャビ	マル田仏)っしゅ四人しゃいっ	/ = 1 パッカー・コー・ナーフ								
			<mark>通切に管理している。</mark> 証明する書類 美員の技量確認を行っていることが		うことか催認できる。								
			≷貝の技重確認を行っていることが 妾材料の使用区分が設計図書の仕様		マキ ス								
			可書を提出していることが確認でき である。		. e a.								
		-	ミくれが削り取られているなど、き		・が確認できる								
		□ 欠陥部の発生が見られる。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	VOMB (A CORE)	- 7 HEHD CC 00								
			所面を十分に乾燥させて施工してい である。	ることが確認できる。									
			51種ケレン後4時間以内に金属前		さが確認できる。								
		□ 塗料の空缶管理について	て、写真等で確実に空であることが	確認できる。		① 当意	 	対象としたいエ	1日は削除す	5.			
		□ 塗料の品質が出荷証明書	書、塗料成績表により、製造年月日	、ロット番号、色彩、数量が	3確認できる。	II	余の項目のある場合は、削			-	8(0/1)計質の値で	証価する	
		□ その他 ()						产(70)可异少胆(計画する。	
		世典:			J		西値(%)=該当項	.,.,,,,		,			
		【架設関係】				4 なお	る、削除後の評価対象項目	数が2項目以下の)場合は c 評価	面とする。			
			Tiされ、記録を保管していることが	確認できる。		<u>l</u>							
		□ ボルトの締付機及び測定	三機器のキャリブレーションを実施	していることが確認できる。									
		□ 高力ボルトの締め付けを	こ、中心から外側に向かって行って	いることが確認できる。			●判断基準						
		□ 高力ボルトの品質が、訂						JF i	うつきで判断	可能			
			リート面のチッピング及び仕上げ面		こが確認できる。			50%以下		80%を超える	ばらつきで判断不可能		
)応力と変形等を十分検討している			_	000/1011			80%を超える	1		
			が架設用機材について品質、性能が		すして確認していることが確認でき	きる。	90%以上	a	a'	b	b		
			ド膜厚管理を適切に行っていること ・ 温度				一 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行		b	b´	b '		
			E、湿度、風速等の確認を行ってい	ることが帷認できる。)		値 60%以上75% 対		b ′	С	С		
		□ その他 □					60%未満	b'	С	С	С		
						注 試験結果の打	[・] 点数等が少なくばらつ	きの判断ができ	ない場合は	評価対象項	目(評価値)た	だけで評価する。	
	T			1									
考查項目	工種		a		b		С				d		
7 4 7 1	·		ている	やや	憂れている		他の評価に該当しな	V			劣ってい	る	
3. 出来形及	鋼橋工事	●評価対象項目			●判断基準								
び出来ばえ		□ 表面に補修箇所が無い。			該当4項目以								
		□ 部材表面に傷及び錆が無	 ₩ \ \ \ '		該当3項目								
Ⅲ. 出来ばえ		□ 溶接に均一性がある。			該当2項目・	=							
皿 ・ 四木はん	1	□ 塗装に均一性がある。			該当1項目以	7 L q							

考查項目	工種	a	a '	b		b '		c		d			e
3. 出来形及	砂防構造物工事	□ 品質関係の試験結果のばらつき			判断基準参照>						と スは 測定)測定方法又は測定
び出来ばえ	及び地すべり防	[関連基準、土木工事施工管理基		られた試験]						適切であった		.,	刀であったため、検
	止工事	※ ばらつきの判断は別紙4-	1 参照。						び 番 きれか	が文書で指示	を行い改	査職員が修	下補指示を行った。
Ⅱ. 品質	(集水井戸工事	 ●評価対象項目							告 0 4 0 /	<u>_</u> 0			
	を含む)	【共通】											
		□ コンクリートの配合試験及U	試験練りを行っており、コン	⁄クリートの品質(強度・w / c	、最大骨材粒径、塩	a.化物総量、単位水量、	アルカリ骨材反	応抑制等)が確					
		認できる。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
		□ コンクリート受け入れ時に必	要な試験を実施しており、	温度、スランプ、空気量等の消	側定結果が確認できる	5 ,							
		□ 圧縮強度試験に使用したコン				- 0							
		□ 運搬時間、打設時の投入高さ				ており、定められた条件	件を満足してい	ることが確認で					
		きる。(寒中及び暑中コンク											
		ロ コンクリートの圧縮強度を管	理しており、必要な強度に	達した後に型枠及び支保工の耳	。 東り外しを行っている	3 。							
		□ 地山との取り合わせを適切に	行っていることが確認でき	3 。									
		□ 鉄筋及び鋼材の品質が、 <u>適切</u>	に管理していることが <mark>証明</mark>	書類で 確認できる。									
		口 有害なクラックが無い。											
		□ その他 ()							
						J							
		【76]叶排冲极工事(7)英田【											—
		【砂防構造物工事に適用】 □ コンクリート打設までさび、	じて 油笠の大宝物が み	対に仕羊しわいとる竺珊してい	、ス > しが畑辺づき	Z (I	当該「評価対	 象項目」のうち、評	価対象外の項目	目は削除する。			
		□ 3000 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			「ることが推覧できる	ى 2		る場合は削除後の評			. (.).	十算の値で評価する	0
		□ 施工基面を平滑に仕上げてい		こことは他の へらる。		3	評価値(%)=該当項目数	() /評信	西対象項目数	()		
		□ アンカーの施工が、設計図書		が確認できる		4) なお、削除後 	の評価対象項目数が	2項目以下の場	場合は c 評価 d	<u>:</u> する。		
		□ ボルトの締付確認が実施され											
		□ ボルトの締付機及び測定機器					● ¥	判断基準					
		□ その他)		191221	14.1	 らつきで判断 [*]	可能		
		理由:							50%以下	1 .	80%を超える	ばらつきで判断不可能	
						<u> </u>		90%以上	a	a '	b	b	
		【地すべり対策工事(抑止杭・集水	井戸工事を含む)】				評	75%以上90%未渝		b	b'	b'	
		ロ アンカーの施工が、設計図書	の仕様を満足していること	が確認できる。			仙	60%以上75%未渝		b '	С	С	
		ロ ライナープレートの組み立て			忍できる。		III.	60%未満	b'	С	С	С	
		□ ライナープレートと地山との				注 試験	は結果の打点数等	幹が少なくばらつき	の判断ができ	ない場合は	評価対象項	目(評価値)だり	けで評価する。
		□ 集・排水ボーリング工の方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	及び角度が、適正となるよ	うに施工上の配慮をしているこ	ことが確認できる。	`					ĺ		
		□ その他 □											
						J							

考 査 項 目	工 種	a	a ´	b	b ´		C	2		d			e
3. 出来形及	コンクリート橋	□ 品質関係の試験結果や規格値等	拳のばらつきと評価値から判断す	る。<判断基準参照>					□ 品/	質関係の測定	三方法又は測		品質関係の測定方法又は測定
び出来ばえ	上部工事	2	!基準、その他設計図書に定めら	れた試験]						値が不適切で	•		値が不適切であったため、検査
	(PC及びRCを	※ ばらつきの判断は別紙4-	- 1 参照。							督職員が文書 改善された。	手で指示を行		職員が修補指示を行った。
Ⅱ. 品質	対象)	 ●評価対象項目							١٠٧	以苦された。			
		ロ コンクリートの配合試験及び	び試験練りを行っており、コンク	リートの品質(強度・w/c、最	大骨材粒径、塩化物総量	、単位水量、アルカリケ	骨材反	(応抑制等)					
		が確認できる。		·									
		ロコンクリート受け入れ時に	必要な試験を実施しており、温原	度、スランプ、空気量等の測定結	手果が確認できる。								
		□ 圧縮強度試験に使用したコン	ンクリートの供試体が、当該現場	易の供試体であることが確認でき	: る。								
		□ 施工条件や気象条件に適した	た運搬時間、打設時の投入高さ及	び締固め方法が、定められた条	牛を満足していることがG	確認できる。							
		(寒中及び暑中コンクリー	- ト等を含む)										
		ロ コンクリートの圧縮強度を行	管理して、必要な強度に達した行	後に型枠及び支保工の取り外しを	:行っていることが確認で	う きる。							
		□ 鉄筋の品質が、適切に管理	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	できる。									
		□ 鉄筋の引張強度及び曲げ強原),	1	当該「	「評価対象項目」のうち	、評価対象	象外の項目は肖	除する。		
				こ付着しないよう管理しているこ		2	削除項	頁目のある場合は削除後	の評価項目	目数を母数とし	て計算した比率	率(%)言	十算の値で評価する。
		□ 圧接作業にあたり、作業員の	の技量確認を行っていることがで	確認できる。	.,	3	評価値	连(%)=該当項	[目数()/評価対象	· 項目数()		
		□ 鉄筋の組立及び加工が、設調	計図書の仕様を満足しているこ。	とが確認できる。		4	なお、	削除後の評価対象項目	数が2項	目以下の場合に	t c 評価とする。		
		ロ コンクリートの養生が、設計	計図書の仕様を満足しているこ。	とが確認できる。		<u> </u>							
		□ スペーサーの品質及び個数を),		●半	川断基準					
		□ プレビーム桁のプレフレク:	ション管理が、設計図書の仕様を	を満足していることが確認できる),				1:	 ばらつきで判断	行能		
		□ 使用する装置及び機器のキャー	ャリブレーションを事前に実施し	していることが確認できる。					50%以7		80%を超える	ばらつきっ	で判断不可能
		□ PC鋼材の緊張及びグラウ	ト注入管理値が、設計図書の仕	策を満足していることが確認でき	: る。			90%LY F	a	a ,	b		b
		□ プレストレッシング時のコン					評	75%以上90%未満	a,	h	b,)
		ロ コンクリート圧縮強度の確認	認は、構造物と同様な養生条件に	こおかれた供試体を用いているこ	とが確認できる。		価	60%以上75%未満	h	h,	C		c
		□ 有害なクラックが無い。			.,		100	60%未満	b ,	C	С		c
		□ その他 ()	注の試験結果の打	点数等	 が少なくばらつきの	<u> </u>				<u></u> 」 価値)だけで評価する。
		理由:				THE RESIDENCE STATE			1 10-114		IIM(\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\)	. (H)	man harver and a set that a contract the set of the set

考查項目	工種	а	b	С	d
7 1 7 1	上、1里	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及 び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート橋 上部工事 (PC及びRC を対象)	□ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。	該当4項目 該当3項目	以上···a ····b ····c	
Ⅲ. 山木はた	で 刈 <i>歌)</i>	口 支承部の仕上げが良い。 口 クラックが無い。 口 全体的な美観が良い。	該当2項目	以下・・・d	

考查項目	工種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定	品質関係の測定方法又は測定
び出来ばえ		●評価対象項目					値が不適切であったため、監 督職員が文書で指示を行い改	値が不適切であったため、検 査職員が修補指示を行った。
び出来ばえ Ⅱ. 品質		□ 製作着手前に、品質や性 □ 材料・部品の品質照合の □ 機器の品質、機能及び性 □ 操作スイッチや表示灯が □ ケーブル及び配管の接続 □ 設備の機能及び性能が、 □ 操作制御関係の機能及び □ 設備の総合性能が、設計 □ 現場条件によって機器で、設備を体についての、点表の図書で定期的な点検 □ 設備の構造について、点	能の確保に係る技術検討が実施して 結果が品質保証書等(現物照合を含 能が設計図書を満足して、成績書に 承諾図書のとおり配置され、操作性 などの作業が、施工計画書に記載さ 設計図書の仕様を満足していること 性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できない。 図書の仕様を満足していることが確 といることが確認できない。 説明書を適切に作成(修繕(改造・ や交換を要する部品及び箇所を明示 検や消耗品の取替え作業が容易にで た代替機能、迂回などのフェールセ 、受注者自らが確認、精査したこと	む)で確認でき、設計図書の仕様まとめられていることが確認できる。れた手順に沿って行われ、不具合が確認できる。いるとともに、必要な安全装置が認できる。場合において、工場試験などで確更新含む)の場合は、修正又は見していることが確認できる。とったとが確認できる。一フ機能を現地試験等で確認して	きる。 合が無いことが確認できる。 及び保護装置の作動が確認できる。 認していることが確認できる。 更新)していることが確認できる。			
		※ 該当項目が90%以上・※ 該当項目が80%以上へ※ 該当項目が70%以上へ※ 該当項目が60%以上へ※ 該当項目が60%未満・	290%未満・・・・ a ' 280%未満・・・・ b 270%未満・・・・ b '	② 削除項目のある場合は削 ③ 評価値(%)=該	うち、評価対象外の項目は削除する。 余後の評価項目数を母数として計算した 当項目数 () /評価対象項目数 (頁目数が2項目以下の場合はc評価とす)		

考查項目	工種	a	b		С	d
		優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及 び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事	●評価対象項目 □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配 □ 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合 □ ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされ □ 全体的な美観が良い。	的な機能及び運用性が良い。	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d		

	考查項目	工種	a	a '	b	b '	С	d	е
電気 II. 品質 II. 品質 II. 品質 II. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 品質 III. 品質 III. 品質 III. 品質 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 品質 III. 記述 III. 品質 III. 記述 III. 記述 III. 記述 III. 記述 III. 記述 III. 記述	3. 出来形及	通信設備工事・受	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不 □	品質関係の測定方法又は測定値が
 ※ 該当項目が80%以上~90%未満・・・・a' ※ 該当項目が70%以上~80%未満・・・・b ※ 該当項目が60%以上~70%未満・・・・b' ※ 該当項目が60%未満・・・・・b' ※ 該当項目が60%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	び出来ばえ		●評価対象項目電気	る品質管理を実施していることを をび形状について、設計図書をきまれて、設計図書をでいて、設計図書をでいて、現等所とのでででは、でででは、でででは、でいるというででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	「確認できる。 ・適合が確認できる証明書等を整 を対しているでででででいる。 ででは、ででででででででである。 ででででででである。ででは、でできるできる。 ででは、ができる。ででは、できる。 でできる。とが確認できる。 でできることが確認できる。 でできることが確認できる。 でできることが確認できる。 でできることが確認できる。 でできることが確認できる。 できることが確認できる。 できる。 できる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。	を備していることが確認できる。を満足していることが確認できる。ことが確認できる。ことが確認できる。これのことが確認できる。これのことが確認できる。これできる。これできる。これできる。これできる。これでいることが確認できる。これでいることが確認できる。これでいることが確認できる。これできる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	。 ・ さる。 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	不適切であったため、検査職員が修

慢れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3. 出来形及 通信設備工事 ●評価対象項目 ●判断基準	考查項目	工種	а	b	с	d
・ 日本の			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
び出来はえ 受災電設備工事	び出来ばえ	通信設備工事 受変電設備工事	□ 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 □ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への □ 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総 □ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総 □ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなさ	該当5項目 記書がなされている。 会合的な機能や運用性が良い。 会合的な性能向上への配慮がなされている。 該当3項目	以上···a ····b ····c	,